



## 趣味で周りを

## 元気にしたい

Vol.70

伊佐川 満さん  
(今津町在住)

退職してから、腹話術をはじめ尺八や民謡などさまざまな趣味に熱中。ボランティアとして地域のサロンやデイケア施設で披露し、皆さんに笑顔と元気を与えている。



▼腹話術人形との掛け合いに、笑いが起こる



「自分が少しでも、いいなと思ったことには全部飛び込んでいきます」  
今津ふれあいセンターでは、今津・山手地区の皆さんが集まり「今津いきいきサロン」が開かれています。会の冒頭、伊佐川さんが、かわいくおめかしした子供を連れて登場。ひよいと片手で持ち上げたのは、子供そっくりの腹話術人形でした。

伊佐川さんは65歳で退職するまで、サラリーマンや飲食業など、さまざまな職につきました。当時は振り返ると「仕事から帰って2時間で就寝、朝起きて30分で仕事」。働き詰めの日々だったと言います。生活の中心である仕事をやがて辞めたときに、何をしたらいいだろうか。飲食業をしているときにふと、遊び心で厨房からお客さんに

声色を変えて話し掛けてみると、自分とは分かってもらえないことがありました。「違う声が出せる」と気付いたときには、すぐに腹話術人形を購入していました。人形との漫談は、伊佐川さん自身が考えます。俳句や川柳を使って頓知の利いた掛け合いをすると、見ている皆さんからは笑いが沸き起こります。人形の動か

し方や話し方も自己流で、時間を見つけては練習を積み重ねているそうです。「まだ場数も踏んでいないし、80歳までに大成できれば」と伊佐川さんは話します。

好奇心から飛び込んだ趣味は、腹話術以外にも尺八や民謡、ひよっとこ踊りなど多岐にわたります。地域の高齢者サロンや病院のデイケア施設で披露するとどれも好評です。「仕事しかしていない生活をしていたので、その反動でしようか」伊佐川さんは笑いながら続けます。「時間に拘束されない自由が楽しくて、なんでもやってみようという気持ちでいます。おかげで退職してから5年以上、心も体も健康ですよ」卓球に、魚釣りに、畑仕事…。あらゆることにチャレンジし、一生懸命取り組む伊佐川さんからはみなぎるパワーが、周りの人々を元気にしているのかもしれない。



▲20歳のときに経験した尺八を再スタート (伊佐川さん=右)



▲腹話術人形のココちゃんは、衣装や飾りにも伊佐川さんのこだわりが